

MacOS による ssh での学外からの接続方法

学術情報処理センター

江藤博文

etoh@cc.saga-u.ac.jp

1 はじめに

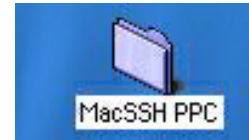
学術情報処理センターではセキュリティ確保のため、パスワードやコマンドがそのままネットワークを流れる telnet による外部接続を閉鎖します。その代替方法としてパスワードやコマンドを暗号化してネットワークを流れる ssh (Secure Socket Shell) が利用可能です。ここでは、MacOS による ssh での接続方法について説明します。なお、MacOSX は ssh に対応していますので、特に設定の必要はありません。

2 必要ソフト

「SSH for mac」を <http://www.macssh.com/> からダウンロードして下さい。68k 用と PPC 用がありますので、使用している Macintosh に合うものをダウンロードして下さい。ここでは PPC 用で説明しますが、68k 用でも同様です。

3 ソフトのインストール

上記ホームページからダウンロードし、適当な場所に解凍して下さい。解凍すると「MacSSH PPC」のフォルダが作成されます。



4 SSH の利用

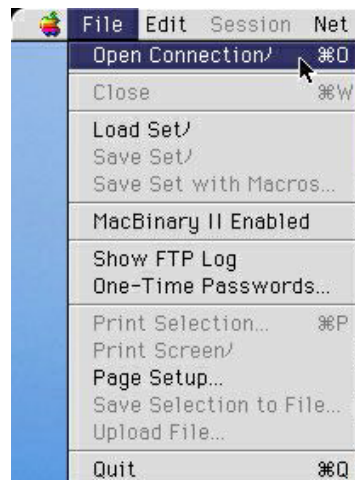
4.1 MacSSH の起動

「MacSSH PPC」フォルダの中の「MacSSH PPC」をダブルクリックします。

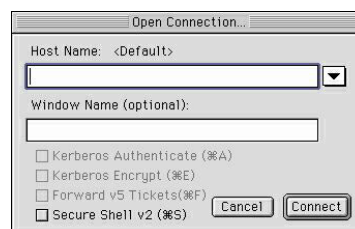


4.2 接続

メニューバーの「ファイル」から「Open Connection」を選択します。



ホスト名と接続の方法のウィンドウが開きます。

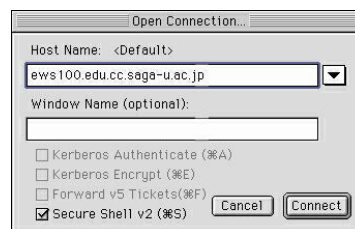


4.3 ホスト名の入力、SSH の選択

センターには研究システムと教育システムがあり、作業内容によりログインするホストが違いますのでご注意ください。以下に研究システムと教育システムの利用目的及びホストの一覧を掲載します。

研究システムと教育システムの利用目的及びホスト		
	研究システム	教育システム
利用目的	研究用アプリケーション利用 教職員メール利用	利用者ウェブ作成利用 学生およびセンター演習担当教員メール利用
ホスト	ogi.cc.saga-u.ac.jp	furuyu.edu.cc.saga-u.ac.jp

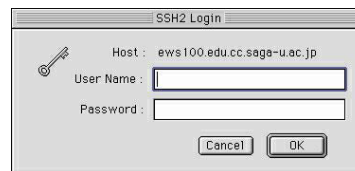
「Host Name」にログインするホスト名を入力し、必ず「Security Shell v2」をチェックします。「Security Shell v2」をチェックを忘れると、通常の telnet による接続となりますので注意してください。以下、ホスト「ews100.edu.cc.saga-u.ac.jp」にログインする場合は示します。入力、チェックを行ったら「OK」ボタンを押して下さい。



4.4 ユーザ名、パスワードの入力

ユーザ名とパスワードの入力画面です。

「User name」にユーザ名 (ユーザ ID)、「Password」にパスワードを入力します。以下に私のユーザ名 (ユーザ ID) での入力例を示します。セキュリティ保護のためパスワードは ` ` 別文字 (ここでは ` `) で表示されます。入力後、「OK」ボタンを押して下さい。



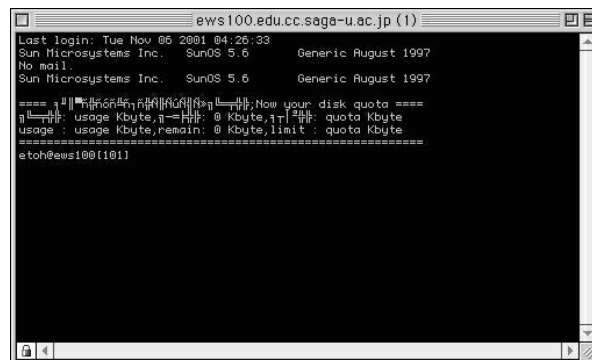
4.5 セキュリティ警告

初めて接続するホストの場合、警告画面が表示されます知らないホストなので、本当に接続しても良いのかを確認を求めています。このまま「Accept Once」ボタンでも接続できますが、接続の度にこの警告ウィンドウが表示されますので、良く接続するホストであれば「Accept & Save」で接続してください。次回の接続からこの画面は表示されなくなります。



4.6 接続

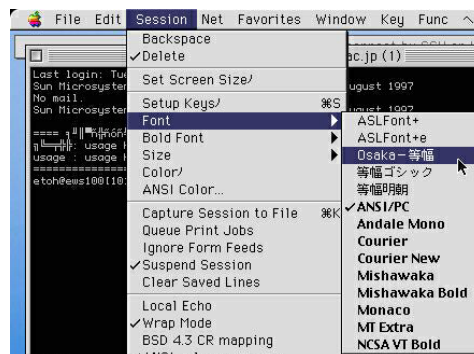
接続直後の画面を示します。初期状態では日本語がうまく表示できませんので設定変更が必要です。



4.7 日本語表示設定

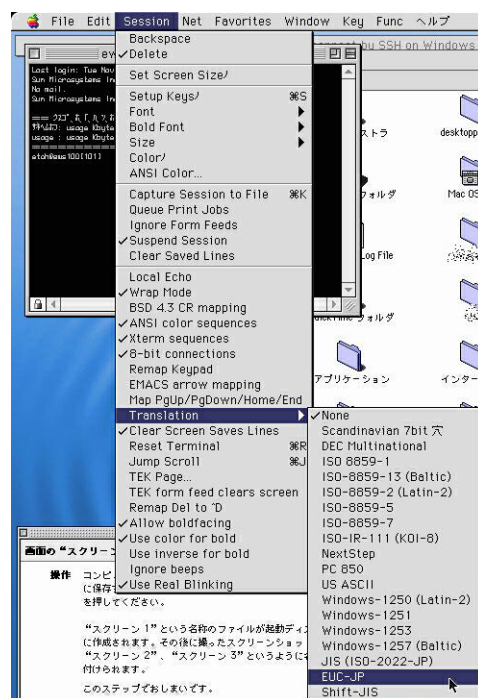
4.7.1 フォント変更

上記接続した状態で、メニューバーから「Session」 「Font」 「Osaka-等幅」を選択します。



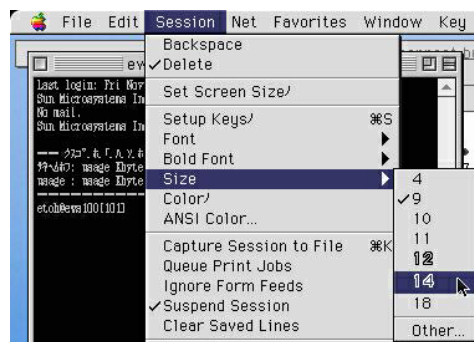
4.7.2 漢字コード変更

上記接続した状態で、メニューバーから「Session」 「Translation」 「EUC-JP」を選択します。

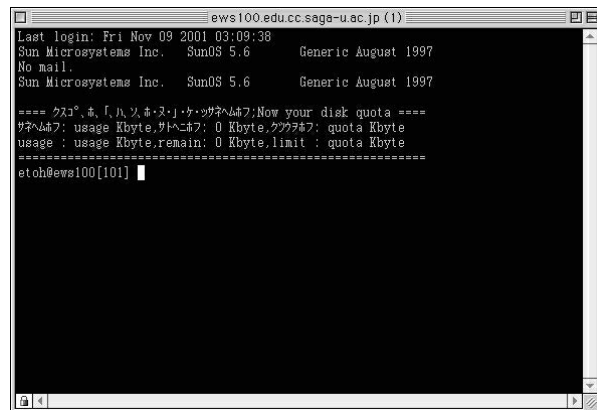


4.7.3 フォントサイズ変更

フォント、漢字コードを変更すると表示が小さくなりすぎますので、フォントサイズを変更します。上記接続した状態で、メニューバーから「Session」 「Size」で適当なフォントサイズを選択します。ここでは「14」を選択します。



これらの設定を終了した画面を示します。

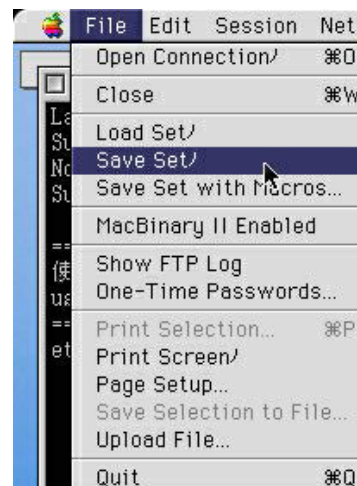


すでに表示してしまった画面の変更はできませんので、画面上では変更が分かりません。設定後にコマンドを入力して、日本語が正しく表示できた画面を示します。

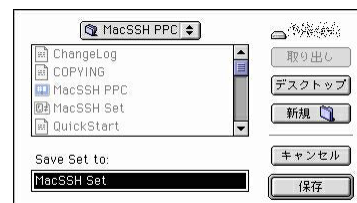


4.7.4 設定の保存

上記設定を行いました。このまま終了しますとまた最初から設定を行う必要があります。次回接続時も同じ設定を行うために現在の設定を保存します。メニューバーから「File」「Save Set」を選択します。

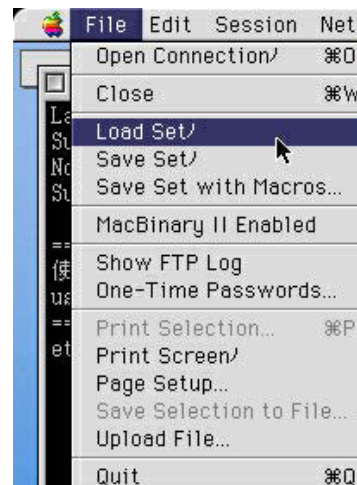


設定保存画面を示します。初期状態では保存先フォルダは「Mac SSH PPC」で、保存ファイルは「Mac SSH Set」です。ここでは特に変更せず、このまま保存します。これで設定を保存しましたので、ソフトを終了します。

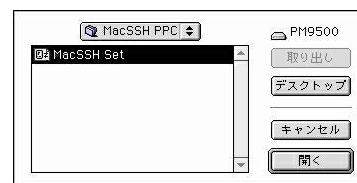


4.7.5 設定の読込

設定の読込は、メニューバーから「File」「Save Set」を選択します。



設定読込み画面を示します。初期状態では読込先フォルダは「Mac SSH PPC」で、読込ファイルは「Mac SSH Set」です。ここでは初期状態のまま保存しましたので、「Mac SSH Set」を開きます。



設定を読込んだ後で上記と同様にログインすると、最初から日本語を正常に表示します。



5 終わりに

Mac SSH は ssh version2 のみに対応しています。センターのログイン可能ホストはすべて対応済みです。各学部、学科、研究室のホストの sshd のバージョンについては各管理者にお尋ねください。